【様式2】

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題5　魅力あふれるまちづくり

計画

主なSDGsゴール

※SDGs（持続可能な開発目標）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダに記載された2016年から2030年までの国際目標です。

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間を念頭に設定＞

地域住民や企業、商店街等との連携により、区の魅力を発信できるイベントを実施するとともに、花とみどりがあふれるまちづくりを推進することで、活気とうるおいあるまちをめざす。

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

・地域住民や企業等と連携し、区の魅力を活かしたイベントの開催に取り組んでいる。主なイベントの来場者数は10年間で倍増（平成23年度45,596人⇒令和元年度91,192人）したが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度以降は会場に集まるかたちでのイベントの開催が困難となっている。なお、イベント来場者を対象に実施したアンケートで「魅力を感じた」と回答した人の割合は82%と概ね好評を得ている（令和2年度、「ふくしまてんこもり」のみ開催）。
・緑化リーダー（ボランティア）として約80名が種から花を育て、その花苗を年2回出荷し、区内の公共施設等への植え替えや区民へ花苗をプレゼントするなどの活動を行い、みどりあふれるうるおいあるまちづくりに取り組んでいるが、ボランティア活動の負担が大きいという意見も出ている。

要因分析（めざすべき将来像と現状に差が生じる要因の分析結果）

・新型コロナウイルス感染症の感染防止策に配慮しつつ、さらなる魅力発信に取り組む必要がある。
・緑化リーダー（ボランティア）が「種から花を育てる活動」をより多くの区民に知ってもらうとともに、活動の新たな担い手を募る。また、それらの活動をとおして自主的なまちづくりへの参加意識を高め、さらに花とみどりあふれる美しいまちづくりを進める。

課題（上記要因を解消するために必要なこと）

・新型コロナウイルス感染症の感染防止策を踏まえた新たなにぎわいづくりを検討するとともに、地域住民や企業、商店街等との連携を一層深めながら、「のだふじ」をはじめ「グルメのまち」など区の魅力を発信できるイベントを実施することで、活気あるまちをめざす。
・緑化活動を安定的に継続できるように新たな担い手を募るなどボランティアの負担を減らす方法を検討しつつ、区民との協働による花とみどりの取組を推進することで、魅力あるまちをめざす。

自己評価

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

・新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント開催の判断が難しい中、地域住民や企業、商店街等と連携を図り、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じた「のだふじまつり2022」「ふくしまてんこもり2023春」を開催し、区の魅力を発信することができた。
・緑化リーダー代表者会議を中心とした緑化活動を支援し、緑化リーダーを中心とした地域会館等への花苗の提供や花壇の手入れを実施するなど区民と協働による花とみどりの取組を推進することができた。

めざす成果及び戦略　5－1　区の花「のだふじ」をはじめ地域の魅力を活かした各種イベント事業

計画

めざす状態＜概ね3～5年間を念頭に設定＞	戦略（中期的な取組の方向性）
・地域と一層の連携を図りつつ区の特性を活かしたイベント等を実施し、区の魅力のさらなる向上を図る。	・区の花「のだふじ」を活用し区の魅力を発信する。また、福島駅周辺のにぎわいと安全・安心なまちづくりの取組(ふくしまてんこもり)や水辺エリアの活性化を図るイベント(ふくしま水辺フェス、ざこばの朝市)等を実施することで、さらなる魅力向上をめざす。 ・さらに、イベントの情報をメディア等へ積極的に提供するなど、効果的な広報を行う。
アウトカム（成果）指標（めざす状態を数値化した指標）	
・(区の魅力度)区主催イベント等のアンケートにおいて「魅力あるまちだと感じる」との回答者の割合：70%以上。	

自己評価

戦略のアウトカム指標に対する有効性	ア	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す

アウトカム指標の達成状況	前年度	個別	全体
魅力あるまちだと感じた割合：94.5%	95.40%	A	A

A：順調　B：順調でない

戦略の進捗状況	a	a：順調 b：順調でない

課題　※有効性が「イ」の場合は必須
―

今後の対応方向　※有効性が「イ」の場合は必須
―

具体的取組5－1－1　「のだふじ巡り」など区の特性を活かしたイベントの実施

2決算額	8,967千 円	3予算額	21,742千 円	4予算額	22,151千 円

計画

当年度の取組内容	プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）
地域の特性を活かした満足度の高い取組を実施する。 ・「のだふじ」を活用した区の魅力発信の取組（のだふじまつり） ・福島駅周辺のにぎわいと安全・安心なまちづくりにかかる取組（ふくしまてんこもり） ・野田阪神駅前周辺地域の活性化に向けた駅前広場の活用（ノダヤオン） ・「おおさかふくしま中之島ゲート海の駅」での恒常的なにぎわいづくりの推進 ・水辺エリアの魅力を高めるイベントの実施（ふくしま水辺フェス、ざこばの朝市） ・都市景観資源などを活用した区の魅力向上 ・商店街が実施する活性化事業の広報協力	・(イベント満足度)参加者を対象としたアンケートにより、「また参加したい」との回答割合：90%以上 【撤退・再構築基準】 同上アンケート調査の結果、「また参加したい」との回答が50%未満であれば事業を再構築する。
	前年度までの実績
	【令和2年度】イベント満足度：82%(「ふくしまてんこもり2020」参加者アンケート調査にて「魅力を感じた」と回答した割合) 【令和3年度】イベント満足度：95.4%(「ふくしまてんこもり2022春」参加者アンケート調査にて「魅力を感じた」と回答した割合)

自己評価

当年度の取組実績	課題　※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須
・「のだふじまつり2022」「ふくしまてんこもり2023春」を実施。 ・ざこばの朝市オンライン（2回）、ざこばの朝市（3回） ・商店街が実施する活性化事業の広報（3回） ・都市景観資源等のふくしまの魅力を再発見する「ふくしま魅力探検」の実施	―
プロセス指標の達成状況	
「のだふじまつり2022」、また参加したいとの回答割合：97.6% 「ふくしまてんこもり2023春」、また参加したいとの回答割合：100%	① （ｉ）
①：目標達成　（ｉ）取組は予定どおり実施　（ⅱ）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（ｉ）取組は予定どおり実施　（ⅱ）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退・再構築基準未達成	
戦略に対する取組の有効性　ア　ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、取組を見直す ―：プロセス指標未設定(未測定)	**改善策**　※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須
	―

めざす成果及び戦略　５－２　区民との協働による花とみどりのまちづくり

計画

めざす状態＜概ね３～５年間を念頭に設定＞	戦略（中期的な取組の方向性）
・区民自らが育てた花をまちなかに植えることにより、区民がうるおいのある美しいまちと感じられるようにする。	・区民が自らの手で種から花を育て、その花をまちなかの駅前や公園、区役所・学校といった公共施設に植えることなどをとおして、区民の自主的なまちづくりへの参加意識を高めるとともに、うるおいのある美しいまちづくりを進めていく。 ・活動団体である緑化リーダー連絡協議会が中心となった緑化活動を通じて、地域コミュニティの活性化を支援する。
アウトカム（成果）指標（めざす状態を数値化した指標）	
・花やみどりが多く、うるおいのある美しいまちだと感じるアンケート回答者の割合：令和7年度までに50%以上（緑化イベント等におけるアンケート）	

自己評価

戦略のアウトカム指標に対する有効性	ア	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す

アウトカム指標の達成状況	前年度	個別	全体
花やみどりが多いまちにしたいと思う人の割合：98.5%	－	A	A

A：順調　B：順調でない

戦略の進捗状況	a	a：順調 b：順調でない

課題　※有効性が「イ」の場合は必須
―
今後の対応方向　※有効性が「イ」の場合は必須
―

具体的取組５－２－１　花とみどりのまちづくり事業

２決算額	487千 円	３予算額	544千 円	４予算額	572千 円

計画

当年度の取組内容	プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標）
・緑化リーダー(ボランティア)が種から花苗を育て、公共施設等に花を植え管理する。種植え回数：2回（約15,000株を目標に育成） ・区民の緑化活動のきっかけ作りを目的として、区民へ花苗のプレゼントを実施する。 ・区役所前花壇・江成公園ふれあい花壇の植替え（年2回）を行うとともに、水やりや手入れ等維持管理を行い、来庁者・来園者にうるおいのある空間を提供する。 ・緑化リーダーの活動について、SNS、ホームページ等で区民へ情報発信する。 ・緑化リーダーの新規募集を随時実施する。	・緑化イベント等におけるアンケートにより、左記取組に対する認知度が50%以上 【撤退・再構築基準】 上記アンケートの結果、認知度が30%未満であれば事業を再構築する。
	前年度までの実績
	【令和2年度】 ・春植え、秋植え花の出荷(15,113株) ・花苗プレゼント1回 ・区役所前花壇・江成公園ふれあい花壇　植替え2回、手入れ（毎月） ・取組に対する区民モニターアンケート回答者の認知度：31.6% 【令和3年度】 ・春植え、秋植え花の出荷(16,460株) ・花苗プレゼント2回 ・区役所前花壇・江成公園ふれあい花壇　植替え2回、手入れ（毎月） ・取組に対する区民モニターアンケート回答者の認知度：36.1%

自己評価

当年度の取組実績	課題　※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須
・春、秋の花苗の出荷（14,004株） ・花苗プレゼント（2回）（合計400株） ・区役所前・江成公園花壇、植替え２回、手入れ月1回 ・緑化リーダーの活動をSNS、ホームページに掲載 ・令和４年度中の新任緑化リーダー（４名）	―
プロセス指標の達成状況	**改善策**　※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須
緑化イベント等におけるアンケート回答者の取組に対する認知度:71.0%　①（ⅰ）	―
①：目標達成　（ⅰ）取組は予定どおり実施　（ⅱ）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（ⅰ）取組は予定どおり実施　（ⅱ）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退・再構築基準未達成	
戦略に対する取組の有効性　ア　ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、取組を見直す ―：プロセス指標未設定(未測定)	